メンバーは50代から80代までの約20名。毎月1回の介護予防のためのサロン、講師を招いての市民福祉講座やフォーラムの開催、広報活動、子ども食堂の運営などを行っています。

（※）母語の異なる人々の間での意思伝達を目的とする人工言語。

▲昨年開催された市民福祉講座の様子。

自身の介護経験をきっかけに

ご自身と配偶者の両親4人の介護を一人で行ったことをきっかけに関節リウマチを患い、身体障害2級となった田中さん。その経験から、「次世代の人たちには自分のような苦労はさせたくない。家族間だけではなく、地域社会で共に支え合わなければ」との思いでホーモイを設立されました。

「市や市民が抱える問題に対して、まずは学習会や講演会で学び、その後にサロンなどの活動を行う『学びと実践の両輪』を大切にしています。昨年は『老後の人生設計』をテーマに4回の市民福祉講座を開催。講演会と講座を経て、施設見学を2回行いました」

発足当初は、ホーモイの活動が保守的な山口県の風土に馴染まずご苦労されたそう。「認知症についての活動は、10年続けてようやく下関市に浸透してきたかなと思います。最近では市民の方からの講座や講演の要請が増えてきました。しかしこれからますます高齢化社会が進み、若い世代の生活は苦しくなっていくことが予想されます。一人ひとりがもっと勉強して、自分たちの置かれている状況に危機感を持ってもらいたいですね」

▲毎月行われる介護予防のためのサロンの様子。

高齢者だけの問題ではありません

「『高齢社会』は高齢者の問題と思われがちですが、すでに高齢化率が3割（※）を超えた今、高齢者だけではなく社会全体の課題と言えます。さらに、一般的には女性の方が長生きをするので、『女性問題』と捉えることもできます。女性が自立し、すべての人が安心して暮らせる社会づくりをめざす中、私たちは3年前から子ども食堂の取り組みをスタートしました。この子ども食堂が地域の方の多世代交流の場として定着することで、困っている女性や地域の方の支えになればと願っています。」

※2019年1月末
現在の下関市における高齢化率

▲子ども食堂の様子。

一人ひとりがいきいきと輝いている街にしたいです

2008年の優秀賞受賞以来、2度目の受賞となる今回。「前回は認知症についての活動で賞をいただきましたが、今回はひとつの活動ではなく、20年間続けてきた活動すべてを評価していただいたとのことで、モットーとしている『学びと実践の両輪』を認められたようでとても嬉しかったです」

今後の目標は、「老人ホームの施設レベルを上げること」とおっしゃる田中さん。今後はそのための準備を長期に渡って行う予定で、施設調査のための学習会を経て、その後老人ホームの調査に移っていくそうです。「自分の故郷でもある下関が一人ひとりがいきいきと輝いている街になるように、これからも活動を続けていきたいです」

▲村岡知事を訪問し、受賞報告を行いました。

流を行ったのがはじまりで、のちに徳山市教育委員会から引き継いだ市民団体です。国際化する社会の中で、真の国際交流とは何かを考え、家族的な交流をモットーとし、ホストファミリーの募集・紹介や留学生との交流会などを実施しています。熊毛こども夢まつりにも参加し、国際交流で得た民芸品や民族衣装を子ども達に体験・試着してもらいました。今後は食文化の交流も実施したいと考えており、活動を末永く継続させたいです。

すこやか夢農園

地元伊陸（いかち）を交流拠点に、豊かで楽しく暮らしやすい里山づくりをめざし、「地域」「人」「食」をつなげるネットワーク事業や環境保全活動、町おこしイベントなどを行っています。子ども食堂の取り組みでは、定期的な子ども食堂の開催と、農業体験で収穫した野菜を一緒に調理してみんなで食べるイベントも開催。これからも、いつまでも住み続けたい里山にしていくため、伊陸の魅力を活かして守っていきたいと思います。

コープやまぐちホームページでも各団体をご紹介しています。facebookでは過去受賞団体さんの活動報告も掲載。

▲ホームページ

▲facebook

第14回女性いきいき大賞の応募受付開始は7月からの予定です。

お問い合わせ
組合員活動グループ
0120・277・5520（平日9時～18時）

3・11を忘れない・・ みやぎ生協から被災地・宮城のいまをお伝えします

―復興を担う女性たち―

「亘理町の文化から生まれた手作り雑貨。ビジネスとして長く続けていきたい」 株式会社 WATALIS

亘理町は町面積の約半分が浸水し、8万人が避難しました。震災から数カ月後、引地恵さんは町内でコミュニティづくりのためのワークショップを始めました。

亘理町には着物の残り布でつくった巾着袋にお米などを入れて感謝を伝える返礼の文化があります。引地さんは、その巾着袋を地元の女性たちの手で再現し、着物リメイク雑貨として販売していこうと考えました。ワークショップに集まった地元の女性たちとともに和裁の先生の指導を受けながら、手作りの巾着袋を「商品」として送り出せるよう、腕を磨きました。

2015年、引地さんは大きな決断をします。着物リメイク雑貨の製造販売をコミュニティ活動から切り離し、新たにつくった㈱WATALISへ移したのです。販売したお金で材料を仕入れ、作り手に製作費を支払い、経費をまかなう―。そんな当たり前の「ビジネス」として事業を続けるためでした。

「コミュニティ活動と並行して取り組んでいたので、着物リメイク雑貨の製造販売も、震災後の一時的な仕事づくりと見られていました。商談に赴くと、〝きちんと供給できるのか〟〝納期は守れるのか〟と信用を得る難しさに直面しました。〝震災から時間が経っているので、もう扱わない〟と言われたこともありました」。

〝素人に会社経営は無理だ〟と危ぶむ声もありましたが、引地さんはビジネスコンペに応募して受賞したり、ウェブ上に販売サイトを開設したりするなど積極的に道を拓きました。作り手さんに縫製を仕事として続けるかどうかを確認し、一層クォリティの向上に努めました。

㈱WATALISの事業は地元の友人知人や震災後につながった人々の応援を受け、着実に歩みを進めてきました。従業員は現在、作り手を含めて12人。アクセサリーや小物雑貨など商品の種類も増えました。WATALISは亘理町のワタリとお守りの意味のTALISMAN(タリスマン)を組み合わせた造語です。「商品を手に取っていただくことで亘理町に関心を持っていただければ嬉しいですね」。

故郷で生まれ故郷を伝える地場産品は、地域経済の担い手になります。「長く続けることで地元に少しでもお金が入り、活気が生まれる。そういう道を目指していきたい」と引地さんは願っています。

情報提供／みやぎ生協(作成：2019年2月)

※株式会社WATALIS
http://watalis.co.jp/

▲巾着袋は地元の女性たちが少し訛って「ふぐろ」と呼んでいたことから「FUGURO」と名付けられました。(写真提供:㈱WATALIS)

▲引地恵さん。2016年、「ちょっとお洒落して集える場がほしい」との要望に応え中町カフェーをオープンしました。様々な商品を手に取って見ることもできます。

(一社)やまぐち食の安心・安全研究センター報告 2月

一般社団法人やまぐち食の安心・安全研究センター生協検査部門では、生協独自判定基準に従って、宅配・店舗・夕食宅配取扱商品の抜き取り検査等を行っています。

【微生物検査】
宅配商品88検体のべ279項目(一般生菌数／大腸菌群／大腸菌／黄色ブドウ球菌／サルモネラ属菌／腸炎ビブリオ)
1検体1項目のコープやまぐち基準超過あり、取引先に改善指導。
店舗商品20検体のべ65項目(一般生菌数／大腸菌群／大腸菌／黄色ブドウ球菌／サルモネラ属菌／腸炎ビブリオ)
結果はすべて良好。
※その他、夕食宅配19検体のべ57項目の検査を実施。

【理化学検査】
生協不使用添加物、成分分析等の検査:依頼検査2検体のべ6項目。
残留農薬検査:宅配商品20検体のべ4,392項目、店舗商品10検体のべ2,198項目。結果は、すべて良好。
※その他、夕食宅配4検体のべ879項目、その他の依頼46検体のべ10,085項目の検査を実施。
■詳しい結果はホームページで月次報告中。

コープ子育てひろばのお知らせ

子育てひろばは赤ちゃん・未就学児を対象にした、出会いの場・ふれあいの場です。

参加予約は不要。いつ来ていつ帰ってもOK　ただし、気兼ねなく使っていただくため、光水熱費やドリンク代、保険の一部として利用料1家族1回100円をいただきます

催し物は特にありません。
絵本やおもちゃなどの遊び道具はありますが、基本的にノンプログラムで、のんびりくつろげ、自由に過ごせる空間を提供する場です。

先輩お母さんのスタッフさんがサポートします。
専門家ではありませんが、子育ての悩みなどに対して、経験を聞いたりすることで気が楽になることもきっとあるはず。

今月の日程　10:30～13:30(周東・岩国センターは10:30～13:00)

4/4(木)	「とくやま店組合員集会室」(周南市)
4/12(金)	「萩センター組合員集会室」(萩市)
4/15(月)	「岩国センター」(岩国市)
4/16(火)	「周東センター組合員集会室」(田布施町)
4/18(木)	「厚狭センター」(山陽小野田市)
4/23(火)	「はぁもにぃ～♪(小郡店前)」(山口市)

次回 5/9(木)

お問い合わせ：0120-27-5520　※ホームページでは会場の地図も掲載しています。

わが家のいちおし商品&声大募集！

4月3回別チラシ
おひさま通信ぷらす
（裏面）を要チェック♪

組合員さんの声から生まれた「いちおし商品」。これまでも、宅配やお店、組合員活動で組合員さんおすすめのレシピや声をご紹介して、組合員さんの共感や新しいお気に入りの発見につながってきました。

これからも、もっと多くの組合員さんに参加してもらい、魅力ある商品を広げていくために、「わが家のいちおし商品&声」を大募集します。

応募要綱・メッセージ記入方法は
4月3回「おひさま通信ぷらす」をお見逃しなく！
皆さんのおすすめの使い方や
エピソードも一緒にお待ちしています♪

これまでに寄せられた「わが家のいちおし」を一部ご紹介

あぶらあげと父の懐かしい思い出

今は亡き父は「おあげさん」をグリルで焼いたものが大好きでした。小ネギをタップリ刻み、わさび醤油につけて、にこにこ顔で食べていました。私も時々食べていますが、炊きたてのご飯といただくと最高です。この「あげ」を見ると、家族を優しく見守ってくれていた父を、懐かしく想い出します。

（山口市 Y.Nさん）

しらす入りほうれん草和えは孫たちもお気に入り

高菜の煮びたしに、ほうれん草の胡麻和えに、玉子焼きに、かぼちゃの煮物に…。「ふっくらしらす干し」入りはうちの定番になっています。孫たちも遊びに来ると、小さな魚たちがいっぱいのほうれん草和えをリクエスト。大好物の1品です。冷蔵庫にかかせない1つです。

（田布施町 カンちゃん）

タレを野菜あんかけにアレンジ！

この商品は衣がカリカリで香ばしくておいしいので、愛用しています。最近ではお野菜と共に食べるために、タレをあんかけにして食べています。野菜の千切り（人参、しめじ、たけのこ、しいたけ、玉ねぎ）を少し茹でて柔らかくし、添付のタレを入れ、片栗粉でうすくとろみをつけます。揚げたてのチキンにあつあつのあんをかけてすぐに食べてみてください。

（下関市　E.Nさん）

笑顔がひろがる コープのお店 ここと

ここと新下関店 一周年祭

昨年新築移転でオープンしたここと新下関店。一周年を迎える4月に、組合員さんへの感謝をこめて一周年祭を開催します！

第1弾 4月20日（土）
お買い得商品盛りだくさん！

第2弾 4月24日（水）
試食がいっぱい♪組合員さんが盛り上げます！

ここと新下関店
住所：下関市秋根町2丁目5-1
電話番号：083-257-2240
営業時間：9:00～21:00

宇部・とくやま・小郡店の営業時間変更のお知らせ

4月1日より営業時間が下記の時間に変更となります。

宇部店	とくやま店	小郡店
9時～21時	9時～20時	9時～20時

春のウェルカムキャンペーン

新規組合員加入大募集
〈期間〉4月1日（月）～4月30日（火）
引っ越しで来られた方にぜひお知らせください♪

①コープ商品券プレゼント
500円以上の出資金で新規加入した場合
500円の商品券1枚をプレゼント

②300ポイントプレゼント券1枚
入力期間：加入翌日から5月31日（金）まで

加入手続時、小学校3年生以下のお子さま連れの方には
さらに「こどもカード」進呈
（スタンプ9個押印済み）
10個たまったらサービスカウンターでプレゼントと交換。

詳しくは各店サービスカウンターまでお問い合わせください。

笑顔でつながる 夕食宅配 ここくる

\10連休中、7日間コースは休まずお届けいたします/

5月に10連休が予定されていますが、夕食宅配ここくるでは、5日間コースはお休み、7日間コースは連休中の4月29日（月）～5月5日（日）も通常通りお届けいたします。

毎週水曜日までにお申し込みいただくと、
翌週月曜日からのお届けになります。この機会にぜひご利用ください♪

夕食宅配についてのお問い合わせ
0120-272-428（月～金：9～18時 祝日もお電話承ります。）